

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和元年12月26日更新

事務事業名	校舎等施設修繕事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	川俣 洋一郎
	施策の柱	36	義務教育施設の整備	所属班	総務施設班	(内線)	5313
予算科目	会計一般	款10	項1	目2	事業連番10719	他	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のため修繕工事等を行う。毎年、不具合が生じている学校施設の復旧を行っており、当然必要なものである。特別な変化はない。
【業務の流れ】	設計委託業者を決定後、学校の要望等を確認しながら実施設計を完成させる。その後、実施設計を基に工事発注を行い、修繕工事等を実施する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費。
【意見や要望】	特にはない。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
【共通】市全小中学校の施設修繕等工事のため、学校施設点検、工事監督等に必要な公用車借上料、ガソリン代等を支出した。 【小学校】合志南小学校プール改修工事、西合志中央小学校給食室空調設備設置等工事、西合志南小学校駐車場舗装工事等が完了した。 【中学校】西合志南中学校技術教室改修工事が完了した。	市内小中学校の施設修繕工事等に関する事務を行う。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→イ 工事件数		【共通】全学校の電話回線の改修(ひかり電話及び留守電)による増 【小学校】前年度に比べ、改修工事の規模が大きく工事本数も増加したことによる増 【中学校】前年度に比べ、改修工事の規模が小さく工事本数も減少したことによる減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内小中学校の施設、施設利用者。		→ア 学校数
		→イ 校
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正な状態に復旧する。		→ア 修理を行なった学校数
		→イ 修理を行なった学校の復旧割合
		(単位)校
		(単位)%
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市内10校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。		全体計画
		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	ア 件		16	21	11	16	12	8	30	30	
	イ										
② 対象指標	ア 校		10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ										
③ 成果指標	ア 校		10	10	10	10	10	10	12	12	
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	43,925	52,904					49,592	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	152,300	202,600	17,900	31,900	81,700	9,000	67,500	225,000
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	39,915	89,353	26,536	22,356	25,531	41,137	55,500	103,908
		(A)事業費計	千円	236,140	344,857	44,436	54,256	107,231	50,137	123,000	378,500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	4,090	2,640	3,900	2,640	3,900	3,900	3,900	3,900	
	(B)人件費計	千円	0	10,443	15,537	10,406	15,537	15,537	15,537	15,537	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	236,140	355,300	59,973	64,662	122,768	65,674	138,537	394,037	

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 実施設計を行い、修繕等の工事を発注する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に方法が無く、妥当である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性の高い業務であるため、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

施工業者を決定し、市内10校の修繕等の工事を行うことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						